

11月2日

れ い
礼

は い
拝

ま ね
招きの言葉
こ と ば

かい かい の
開会の祈り

し ゆ い の 主の祈り

てん われ ちち
天にまします我らの父よ

ねが
願わくは

み な
御名をあがめさせたまえ

つづ
(続 く)

^み ^{くに} ^き
御国を来たらせたまえ

^み ^{こころ} ^{てん}
御心の天になるごとく

^ち
地にもなさせたまえ

^{つづ}
(続 く)

われ にちよう かに
我らの日用の糧を

きよう あた
今日も与えたまえ

つづ
(続く)

われ つみ おか もの
我らに罪を犯す者を

われ ゆる
我らが赦すごとく

われ つみ ゆる
我らの罪をも赦したまえ

つづ
(続く)

われ ころ あ
我らを試みに遭わせず

あく すぐ いだ
悪より救い出したまえ

つづ
(続 く)

くに ちから さか
国と力と栄えとは

かぎ なんじ
限りなく汝のものなればなり

アーメン

つ み こ く は く
罪の告白の

か ん こ く
勧告

つみ　こくはく　きとう 罪の告白の祈禱

ばんぶつ　つくぬし
万物の造り主、

ひと
すべての人の

さば　ぬし　かみ
裁き主であられる神よ。　（つづ　続く）

わたし

私たちは、あなたの

せい

いまし

したが

聖なる戒めに従わず、

うしな

ひつじ

失われた羊のように

み まえ

まよ

い

御前から迷い出で、

（つづ
続く）

おも こと ば おこな
思いと言葉と行いにおいて

つみ おか み いか
罪を犯し、あなたの御怒りを

まね
招いたことを

ふかかな
深く悲しんでいます。 (つづく)
(続 く)

あわ 憐れみに^と富^{ちち}んでおられる父よ。

おか つみ にく かな わたし
犯した罪を憎み悲しむ私たちに

あわ 憐れみを^{そそ}注いでください。 (^{つづ} 続 く)

^{しゅ}
主イエス・キリストにおいて

^{わたし} 私 ^{ゆる} たちを赦し、^み ^{たま} 御霊によって、

^う 生まれ ^か 変わらせ、

^み ^な 御名 ^さ ^か の栄えのために

^い 生きる ^{もの} 者とならせてください。(^{つづ} 続 く)

^{しゅ}主イエス・キリストの^み御^な名に

よって^{いの}お祈りいたします。

アーメン

つ み ゆ る
罪の赦しの

せ ん げ ん
宣言

し へん か
詩編歌131

1. 主^{しゅ}よ、わが^{こころ}心は
おごり^{たか}高ぶらず、
ちから
力のおよばぬ
たか^{のぞ}高きを望まじ。

(1/3)

2. げに、わが^{たましい}魂

^{しず}静まりてもだす。

^{はは}母のふところの

みどり子^このごとく。

(2/3)

3. ^な 汝れ、イスラエルよ

もだし^{しず}静まりて、

^{いま} 今よりときわに

^{しゅ} 主に^{のぞ}望みいだけ。

(おわり)

ぼ っ か い き と う
牧会祈禱

こども^こも説教^{せつきょう}

「信仰^{しんこう}に立て^たなかったアブラム」

そうせい き
創世記12:10～20

しんげん しょう
箴言29章

25 ひと きょうふ わな
人は恐怖の罠にかかる。

しゅ しんらい もの
主を信頼する者は

たか ところ お
高い所に置かれる。

ジーザスラブズユー

『Jesus loves you』

Jesus loves you wa ra ra ra

なんてすてきなこと

Jesus loves you wa ra ra ra

とこしえの^{ともだち}友達さ

かみさま
1.あなたは神様に

こころ あい
心から愛されてる

じゅう じ か ち
十字架の血しおは

あい
あなたへの愛のしるし

Jesus loves you wa ra ra ra

なんてすてきなこと

Jesus loves you wa ra ra ra

とこしえの^{ともだち}友達さ

2.あなたがどんなに

かみさま

神様にそむいても

かみさま

か

神様は変わらず

あい

あなたを愛している

Jesus loves you wa ra ra ra

なんてすてきなこと

Jesus loves you wa ra ra ra

とこしえの^{ともだち}友達さ

(おわり)

ウェストミンスターしんこうこくはく信仰告白

第5章だいしょう 摂理せつりについて

1. 万物ばんぶつの偉大いだいな創造そうぞう者しやである神かみは、
あらゆる被造物ひぞうぶつと行為こういと物事ものごとを、
最大さいだいのものから最小さいしょうのもののまで、

だいいち もつと かしこ きよ せつり
〔第一に〕かれの 最も 賢く 清い 摂理に

だいに むびゆう よち
より、〔第二に〕その 無 謬 の 予知と、

ごじしん みこころ じゆう ふへん
御自身の御 心 の 自由で 不変の

はか したが
計らいとに 従い、

だいさん ち え ちから ぎ いく
〔第三に〕かれの知恵・力・義・慈しみ・

あわ えいこう さん び
憐れみ、の栄光が讃美されるように、

ささ みちび ととの とう ち
支え、導き、整え、統治される。

(おわり)

サムエル記^{き じょう}上^{しょう} 16章

1 ^{しゅ}主はサムエルに^い言われた。

「いつまであなたは、サウルのことを
^{なげ}嘆くのか。わたしは、イスラエルを
^{おさ}治める王位^{おう い}から^{かれ}彼を^{しりぞ}退けた。

つの あぶら み で
角に 油 を満たして出かけなさい。

あなたをベツレヘムのエッサイのもとに
つか 遣わそう。わたしはその息子たちのなか
おう 王となるべき者を見いだした。」:

2 サムエルは言^いった。

「どうしてわたしが行^いけましょうか。

サウルが聞^きけばわたしを殺^{ころ}すでしょう。」

主^{しゅ}は言^いわれた。「若^{わか}い雌^め牛^{うし}を引^ひいて行^いき、

『主^{しゅ}にいけにえをささ^きげるために来^きました』

と言^いい、₃ いけにえをささ^きげるときに

な^まねたら、エッサイを招^{まね}きなさい。

なすべきことは、そのときわたしが告^つげる。

あなたは、わたしがそれと告げる^{もの}者に
^{あぶら}油 ^{そそ}を注ぎなさい。」

4 サムエルは主が^{しゆ}命^{めい}じられたとおりに
した。^{かれ}彼がベツレヘムに^つ着くと、
^{まち}町の ^{ちやうろう}長老は^{ふ あん}不安げに^{で むか}出迎えて、
^{たず}尋ねた。

「おいでくださったのは、^{へい わ}平和なことの
ためでしょうか。」⁵「^{へい わ}平和なことです。

^{しゅ}主にいけにえをささげ^きに来ました。

^み身を^{きよ}清めて、いけにえの^{かいしょく}会食に

^{いつしょ}一緒に^き来てください。」

サムエルはエッサイとその息子

たちに身を清めさせ、

いけにえの会食に彼らを招いた。

6 彼らがやって来ると、サムエルは

エリアブに目を留め、彼こそ主の前に

油を注がれる者だ、と思った。

7 しかし、主はサムエルに言われた。

「容姿や背の高さに目を向けるな。

わたしは彼を退ける。

人間が見るようには見ない。

人は目に映ることを見るが、

主は心によって見る。」

8 エッサイはアビナダブを^よ呼び、
サムエルの^{まえ}前を^{とお}通らせた。

サムエルは^い言った。

「この^{もの}者をも^{しゅ}主はお^{えら}選びにならない。」

9 エッサイは^{つぎ}次に、シャンマを^{とお}通らせた。

サムエルは^い言った。

「この^{もの}者をも^{しゅ}主はお^{えら}選びにならない。」

10 エッサイは七人の^{しちにん}息子に^{むすこ}サムエルの

^{まえ}前を^{とお}通らせたが、サムエルは^{かれ}彼に^い言った。

「主はこれらの^{もの}者をお^{えら}選びにならない。」

11 サムエルはエッサイに^{たず}尋ねた。

「あなたの^{むすこ}息子はこれだけですか。」

すえ こ のこ いま

「末の子が残っていますが、今、

ひつじ ばん

羊の番をしています」とエッサイが

こた

答えると、サムエルは言^いった。

ひと

かれ

つ

こ

「人をやって、彼を連れて来させて

ください。その子がここ^こに来^こないうちは、

しょくたく

つ

食卓には着きません。」

12 エッサイは人^{ひと}をやって、その子^こを
連^つれて来^こさせた。彼^{かれ}は血^{けつ}色^{しよく}が良^よく、
目^めは美^{うつく}しく、姿^{すがた}も立^{りつ}派^ぱであった。
主^{しゅ}は言^いわれた。「立^たって彼^{かれ}に油^{あぶら}を
注^そぎなさい。これがその人^{ひと}だ。」

13 サムエルは ^{あぶら}油 ^{はい}の ^{つの}入った ^と角 ^だを取り出し、
^{きょうだい}兄弟 ^{なか}たちの ^{かれ}中で ^{あぶら}彼に ^{そそ}油 ^{そそ}を注いだ。

^ひその ^い日 ^{らい}以来、^{しゅ}主 ^{れい}の ^{はげ}霊 ^{はげ}が激しく

^ふダビデに ^ふ降る ^ふようになった。

^たサムエルは ^た立って ^{かえ}ラマに ^{かえ}帰った。

14 主^{しゅ}の霊^{れい}はサウルから離^{はな}れ、

主^{しゅ}から来^{きた}る悪^{あく}霊^{れい}が彼^{かれ}をさいなむように

な^かった。15 サウルの家^{しん}臣^かはサウルに

すす
勧^{すす}めた。「あなたをさいなむのは

かみ
神^{かみ}からの悪^{あく}霊^{れい}でしょう。16 王^{おう}様^{さま}、御^み前^{まえ}に

つか
仕^{つか}えるこの僕^{しもべ}どもにお命^{めい}じになり、

たてごと じょう ず かな もの
豎琴を上手に奏でる者を

さが かみ あくれい
探させてください。神からの悪霊が

おうさま おそ かれ かな
王様を襲うとき、おそばで彼の奏でる

たてごと おうさま ご き ぶん よ
豎琴が王様の御気分を良くするでしょう。」

か しん めい
17 サウルは家臣に命じた。「わたしの

たてごと めいしゅ み だ
ために豎琴の名手を見つけ出して、

つ き じゅうしゃ ひと り
連れて来なさい。」¹⁸ 従者の一人が

こた あ
答えた。「わたしが会ったベツレヘムの

ひと むす こ たてごと たく
人エッサイの息子は豎琴を巧みに

かな ゆうかん せん し せんじゅつ
奏でるうえに、勇敢な戦士で、戦術の

こころ え こと ば ふんべつ
心得もあり、しかも、言葉に分別が

がいけん よ しゅ とも
あつて外見も良く、まさに主が共に

おられる^{ひと}人です。」¹⁹ サウルは、

エッサイに使者^しを^し立て^たて^い言^いった。

「あなたの息子^{むすこ}で、羊^{ひつじ}の番^{ばん}をする

ダビデを、わたしのもとによこしなさい。」

²⁰ エッサイは、パン^つを積^つんだろばと

ぶどう酒^{しゅ}の入^{はい}った革^{かわ}袋^{ぶくろ}と子山羊^{こやぎ}一^{いち}匹^{びき}を

よう い むす こ も
用意し、息子ダビデに持たせて

サウルに^{おく}送った。²¹ ダビデはサウルの

もとに^き来て、^{かれ}彼に^{つか}仕えた。^{おう}王はダビデが

^{たいそう}大層^き氣に入り、^い王の^{おう}武器^ぶを持^きつ^も者^{もの}に

^と取り^た立てた。²² サウルはエッサイに

^い言^{おく}い送った。「ダビデをわたしに

つか
仕えさせるように。彼は、わたしの
こころ かな
心 に適った。」²³ かみ れい
神の霊がサウルを
おそ
襲うたびに、ダビデが かたわ たてごと
傍らで豎琴を
かな
奏でると、サウルは こころ やす
心 が安まって
き ぶん よ
気分が良くなり、あくれい かれ はな
悪霊は彼を離れた。

(おわり)

211. ^{ひつじ か}羊飼いの

1. ^{ひつじ か}羊飼いの ^{ひつじ か}羊飼いよ わが^{しゅ}主よ

こたえたまえ ^{み まえ}いま御前に

ささげまつる ^{いの}祈りに

2. 主^{しゅ}のしもべに きよき^{ちから}力^{ちから} 賜^{たま}いて

みなのために よき^{たたか}戦^{たたか}い

なさせたまえ わが^{しゅ}主^{しゅ}よ

3. ^{あさ}朝^{ゆう}な夕^{しゅ}な主^みの御^{あと}跡^を たどりて

^み身^おを惜^{ひつじ}しまぬ 羊^か飼いと

ならせたまえ わが^{しゅ}主よ

4. ^{ひつじ か}羊飼いの ^さ指すがままに ^{あゆ}歩みて

^{まよ}迷いゆかぬ ^よ良き ^{ひつじ}羊と

ならせたまえ ^{しゅ}わが主よ

アーメン

せつ
説

きょう
教

あぶらそそ
「ダビデの油注ぎ」

かわ え とも あき せん せい
川栄智章先生

525. めぐみふかき

1. ^{めぐ}恵み^{ふか}深き ^{しゅ}主のほか

たれかわれを ^{なぐさ}慰めん

^{しゅ}わが主、^{かみ}わが神 ^{めぐ}恵みたまえ

^{たよ}ただ頼りゆく ^みわが身を

2. わが^{しゅ}主ともに いまさば、

^{あく ま}悪魔われを いかにせん

^{しゅ}わが主、^{かみ}わが神 ^{めぐ}恵みたまえ

^{たよ}ただ頼りゆく ^みわが身を

3. きよきみむね ^{おし} 教えて

^は 果たしたまえ ^{み ちか} 御誓い

^{しゅ} わが主、^{かみ} わが神 ^{めぐ} 恵みたまえ

^{たよ} ただ頼りゆく ^み わが身を

4. ^{とうと}貴^{しゅ}き主よ われをば

^{きみ}君のものと したまえ

^{しゅ}わが主、わが^{かみ}神 ^{めぐ}恵みたまえ

^{たよ}ただ頼りゆく わが^み身を

アーメン

せい
聖

さん
餐

しき
式

205. わが^{しゅ}主よ　　^{いま}今ここにて

1. わが^{しゅ}主よ　　^{いま}今ここにて

したしくまみえまつり、

かぎりなき^{さいわ}幸いを

うくるこそうれしけれ

アーメン

けん
献

きん
金

かんしゃ ささ もの
感謝の献げ物

にん い きようせい
任意であり、強制ではありません

ほう
報

こく
告

本日の予定

- 教会学校（礼拝後）
- 定期小会・合同役員会（pm1:30～）
- 夕拝（pm5:00）

今週の予定

- 祈りと学びの会（祈祷会）午前・夜
11月5日(水)
- 会堂掃除 第2週担当者

次主日の予定

- 礼 拝 am10:30

司式・説教：辻 幸宏牧師 奏楽：鈴木美登里姉

「キリストの名による権威」

- グループ別祈禱会（礼拝後）
- 教会教育研修会（綱島教会）pm2:30～
- せんげん台伝道所伝道所委員会（pm1:30）
- 夕 拝（休会）

541. ^{しょう}頌 ^{えい}栄

^{ちち}父、^{みこ}御子、みたまの

おおみかみに、

ときわにたえせず、

みさかえあれ、みさかえあれ

アーメン

しゅく
祝

ふく
福

ア-メンさんしょう
三唱